



令和4年度鳥取県社会教育振興大会兼 社会教育委員研修会



町の魅力を活かした公民館活動を目指して
～日野町の豊かな自然や歴史文化を活かした体験学習・研修会を中心として～



令和4年11月2日(水)
日野町公民館 館長 神庭賢一

I 公民館学習

1 ゲンジボタル観察会&ナイトウォーク

☆日野川の舟場地区では6月中旬に数千匹の乱舞

☆ゲンジボタルって？

○水生ボタル（ゲンジボタル・ヘイケボタル・クメジマボタル）

○オス14mm前後、メス18mm前後



☆生息環境①
日野川舟場地区周辺




☆生息環境②
日野川舟場地区周辺





☆ホテル観察会&ナイトウォークコース①
日野川舟場地区沿道 往復2km



☆ホテル観察会&ナイトウォークコース②
日野川舟場地区沿道 往復2km
所要時間：およそ1時間

令和4年度ホテル観察会受付の様子

日時：6月10日（金）午後6時50分～

参加者：幼児＋小学生＋中学生＋保護者＋一般（42名）



令和元年度ホタル観察会事前学習の様子

日時：6月14日（金）午後6時50分～

参加者：幼児＋小学生＋中学生＋保護者＋一般（48名）



令和4年度ホタル観察会受付の様子

日時：6月10日（金）午後6時50分～

参加者：幼児＋小学生＋中学生＋保護者＋一般（42名）



平成30年度の様子

日時：6月15日（金）午後6時50分～

参加者：幼児＋小学生＋中学生＋保護者＋一般（49名）



2 ハッチョウトンボ観察会

①ハッチョウトンボって？

- 世界一小さいトンボの一つ
- 体長1.8cm程度
- 鳥取県絶滅危惧Ⅱ類



ハッチョウトンボのメス

ハッチョウトンボのメス



②実際の大きさ：体長約1.8cm



☆生息環境

- 丈の短い植物の繁殖する湿地
- 日当たりのよい浅い水域

(2005年) 14年前にハッチョウトンボを発見、真砂土採取跡地に形成された湿地

(2009年) 鳥取大学による学術調査が入る。

☆ハッチョウトンボ観察会の概略

- 平成27年度・・・8名
- 平成28年度・・・5名
- 平成29年度・・・約60名
- 平成30年度・・・約60名
- 令和元年度・・・約56名
- 令和2年度・・・約60名
- 令和3年度・・・約60名
- 令和4年度・・・約80名

☆平成29年度より黒坂小学校土曜授業の一環としても開催する。



令和元年度ハッチョウトンボ観察会の様子

日時：6月22日（土）

参加者：小・中学生十保護者十一般（60名）



☆中学生、役場職員も参加

令和4年度ハッチョウトンボ観察会の様子

日時：6月18日（土）

参加者：幼児・小学生＋保護者＋一般（70名）



☆境港市外江公民館からの参加も

☆その他の関連事業

☆鳥取県子ども観光大使ハッチョウトンボ観察会

令和元年7月28日 40名参加（児童＋保護者＋役員）



☆日野川の源流と流域を守る会

『日野川学校観察会』

令和4年7月30日 25名参加

(児童+保護者員+役員)





☆観察会実施の為の事前準備・活動
☆年2回の草刈り作業(5月・11月)

草刈り後の湿地ビオトープの様子



☆植樹祭補助金による観察用の木道整備の様子 【令和4年4月に実施】



☆トラクターによる環境改善作業の様子
令和4年11月実施



3 キノコ鑑定会

☆令和4年10月10日(日) 参加者：22名

☆令和3年10月10日(日) 参加者：31名

☆平成30年10月13(土)

会場：鵜池公園 参加者：一般7名

☆平成29年10月7日(土)

会場：鵜池公園 参加者：一般6名



☆鵜池公園周辺の様子



☆キノコ採取の様子





食用のキノコ（若い個体）：ホコリタケ



食用のキノコ：ノウタケ

食用のキノコ：オオイチョウタケ



オオイチョウタケ
食



食

毒キノコ：タマシロタケ・シロオニタケ等

チャツムタケ
毒

コタマゴテンゴタケ
毒

シロオニタケ
毒

タマシロタケ
毒





○キノコ鑑定会の様子

3 古文書に親しむ会

☆福田家家譜の写真

右記の如し

付札病弱等、尚志餘人等、

一 願、奉言、

一 願、願、

一 願、願、

一 願、願、

一 願、願、

一 願、願、

一 願、願、

一 願、願、

天保五年七月廿九日

福田家譜原八高宅日記、

下、新、

二、付、

三、年、

四、夫、

同九月四月十七日

福田家譜原、

脚、進、

右、丹、

同年八月十一日

福田家譜原、

☆鏡山城址の様子



お墓さん



○陣屋は、1661（寛永元）年
福田内膳正政重（ふくだないぜんのしょうひさしげ）
の支配となる。
○福田氏はその当時、「御地頭様（ごとうさま）」
と呼ばれていた。

☆研修の様子（室内）

開催日：毎月第4日曜

講師：鳥取県立公文書館より2名



☆研修の様子（屋外）



II おしどり学園

1 講演会①【歴史・文化編】学園開講式

○全町民対象 ○学園生:47名

○平均年齢:80歳 ○開設日:毎月第3金曜

○内容:一般教養講座・グループ専門講座
町外研修

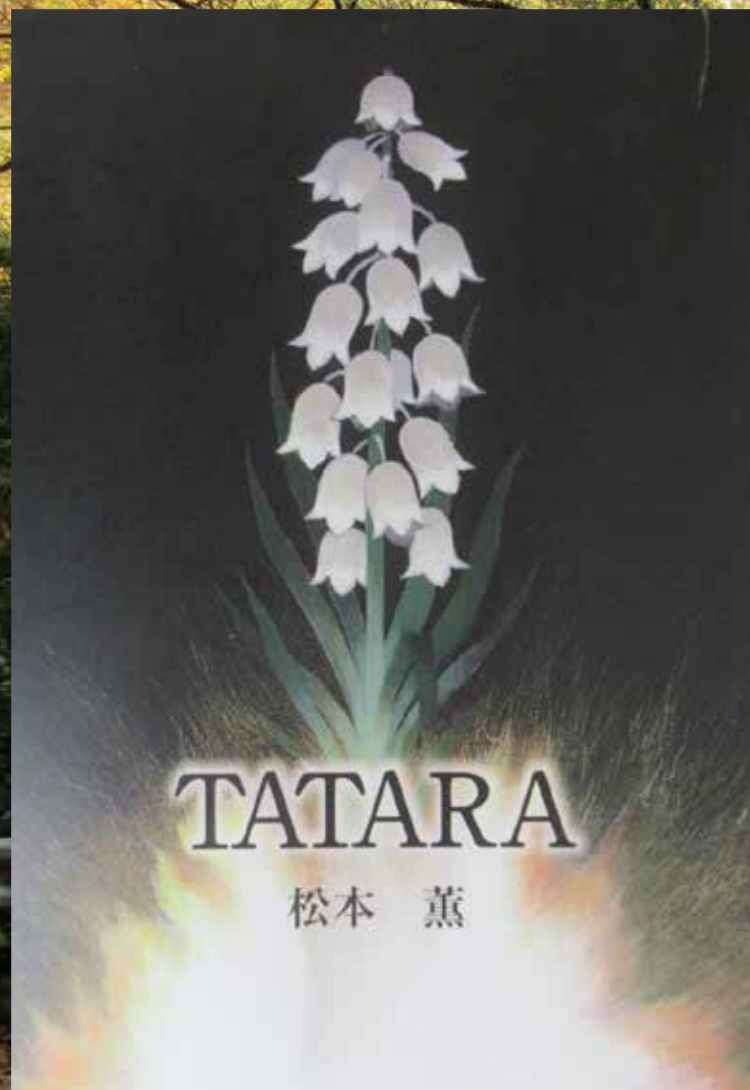
○開講式

○令和3年4月16日(金)

○記念講演 松本 薫さん【作家】

「小説『TATARAをめぐるあれこれ』

☆都合山たたら遺跡①



松本薫著「TATARA」



☆都合山たたら遺跡③



講演会②【歴史・文化編】江戸時代のたたら産業

江戸時代、鳥取藩は自由に鉄を作らせ、
松江藩は生産者（鉄師）を限って鉄を作らせた。

- ▶ たたらの経営には巨額の資金が必要
（労力、原料や燃料の調達、運送など）
- ▶ 近藤家は天保年間（1836年）、大阪に通販店を開設



○令和3年7月16日（金）

○記念講演 杉原みきおさん【地域未来代表】

『「たたら」ガッテン！講座』

講演会③【歴史・文化編】



○令和元年8月26日(金)

○矢田貝繁明【大山自然歴史館館長】

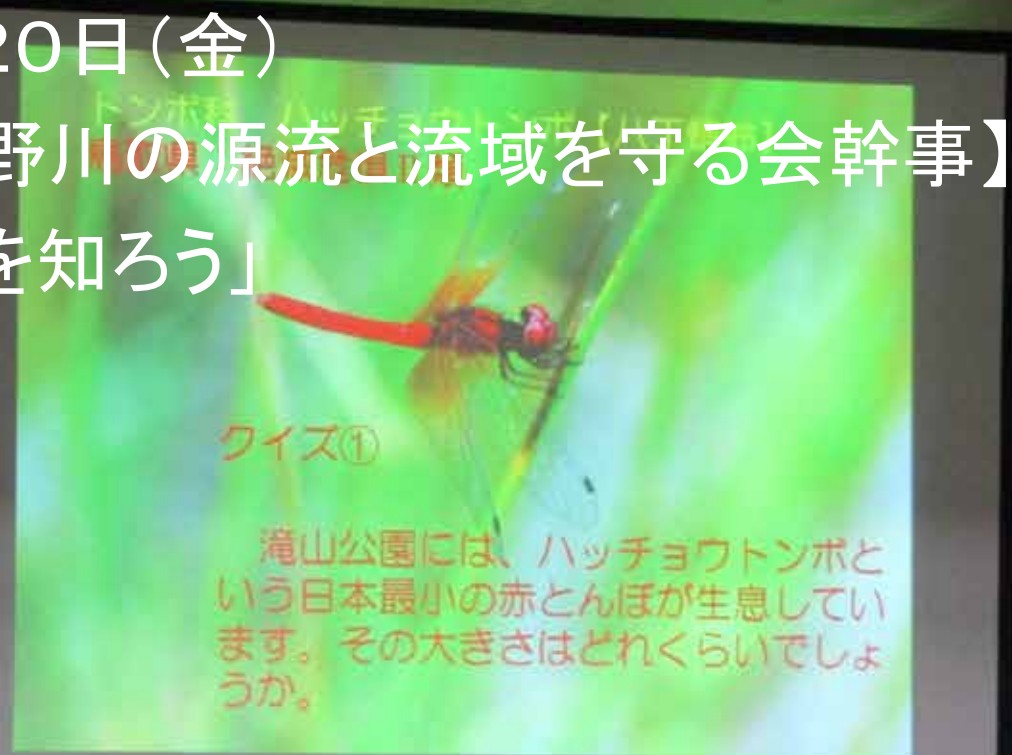
「奥日野の自然について」

講演会④【自然編】

○令和2年11月20日(金)

○神庭 賢一【日野川の源流と流域を守る会幹事】

「日野町の自然を知ろう」



Ⅲ 学社連携事業

1 夏休み子ども教室

令和4年7月27日

自然教室

黒坂小児童対象の自然観察会

【日野町黒坂カワコふれあい公園】





令和4年7月27日

自然教室

黒坂小児童対象の自然観察会

【日野町黒坂カワコふれあい公園】



☆ 捕獲されたカワヨシノボリ

令和3年7月27日
自然教室
根雨小児童対象の自然観察会
【日野町根雨板井原川】





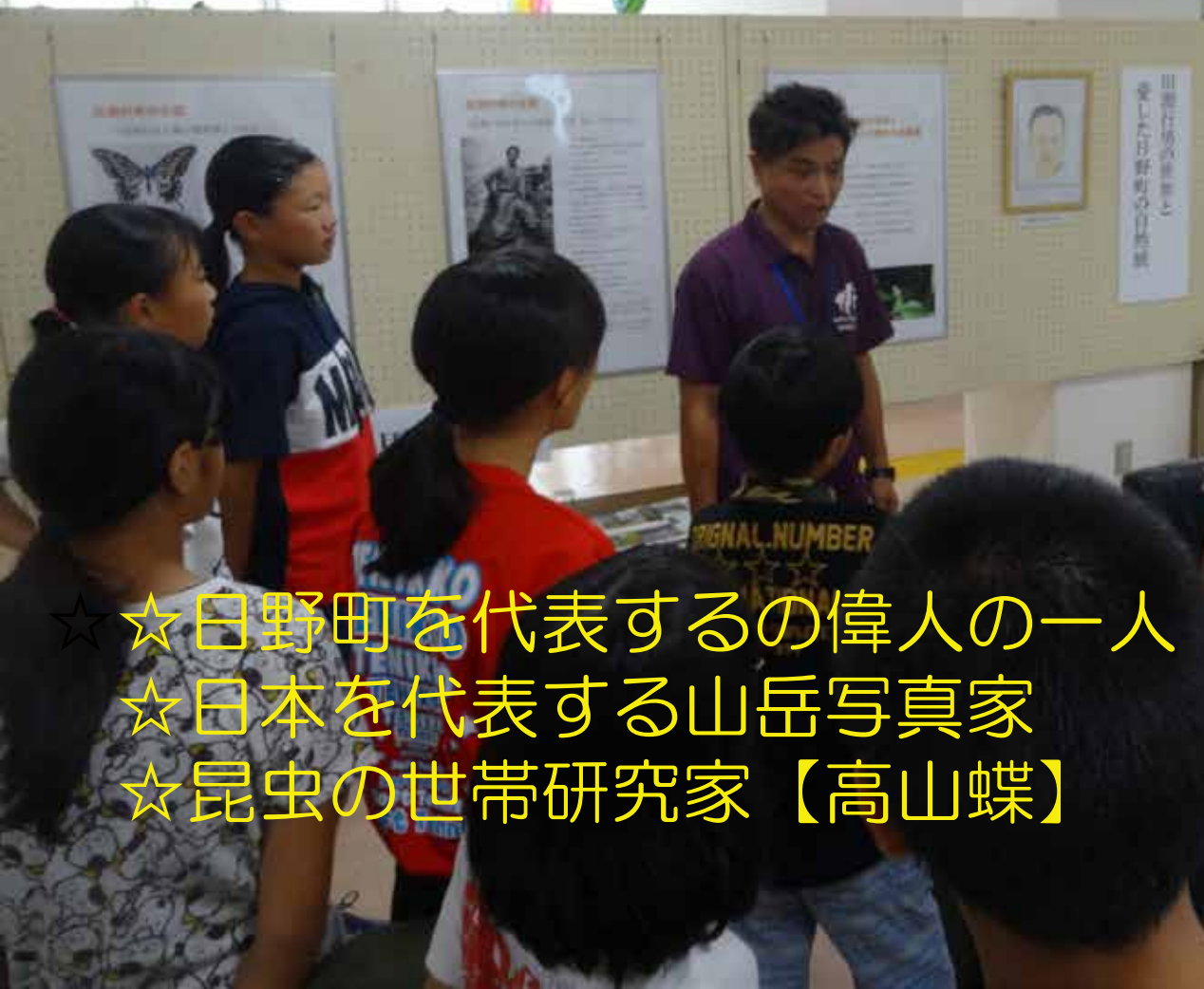
☆観察会の様子

【日野町根雨板井原川】

IV 特別企画展

町政60周年記念事業

『田淵行男の世界と愛した日野町の自然展』



- ☆日野町を代表するの偉人の一人
- ☆日本を代表する山岳写真家
- ☆昆虫の世帯研究家【高山蝶】

田淵行男 (1895年11月19日 - 1980年)

日野町創市60周年記念事業

田淵行男の世界と
愛した日野町の自然展

60

2024.10.10 - 11.26

日野町立自然史博物館

主催：日野町立自然史博物館 協賛：日野町立自然史博物館 協賛：日野町立自然史博物館

日野町立自然史博物館 日野町立自然史博物館 日野町立自然史博物館

日野町立自然史博物館 日野町立自然史博物館 日野町立自然史博物館

☆開催期間：令和元年9月5日～26日

来館者：地元小中高生・一般・県内外一般

延べ約600名



☆蝶の細密画

【長野県安曇野市田淵行男記念館より借用】



○成果

☆日野町の自然の素晴らしさや歴史・文化を体感することで、町の良さを再認識いただくことができ、活性化の一助となっている。

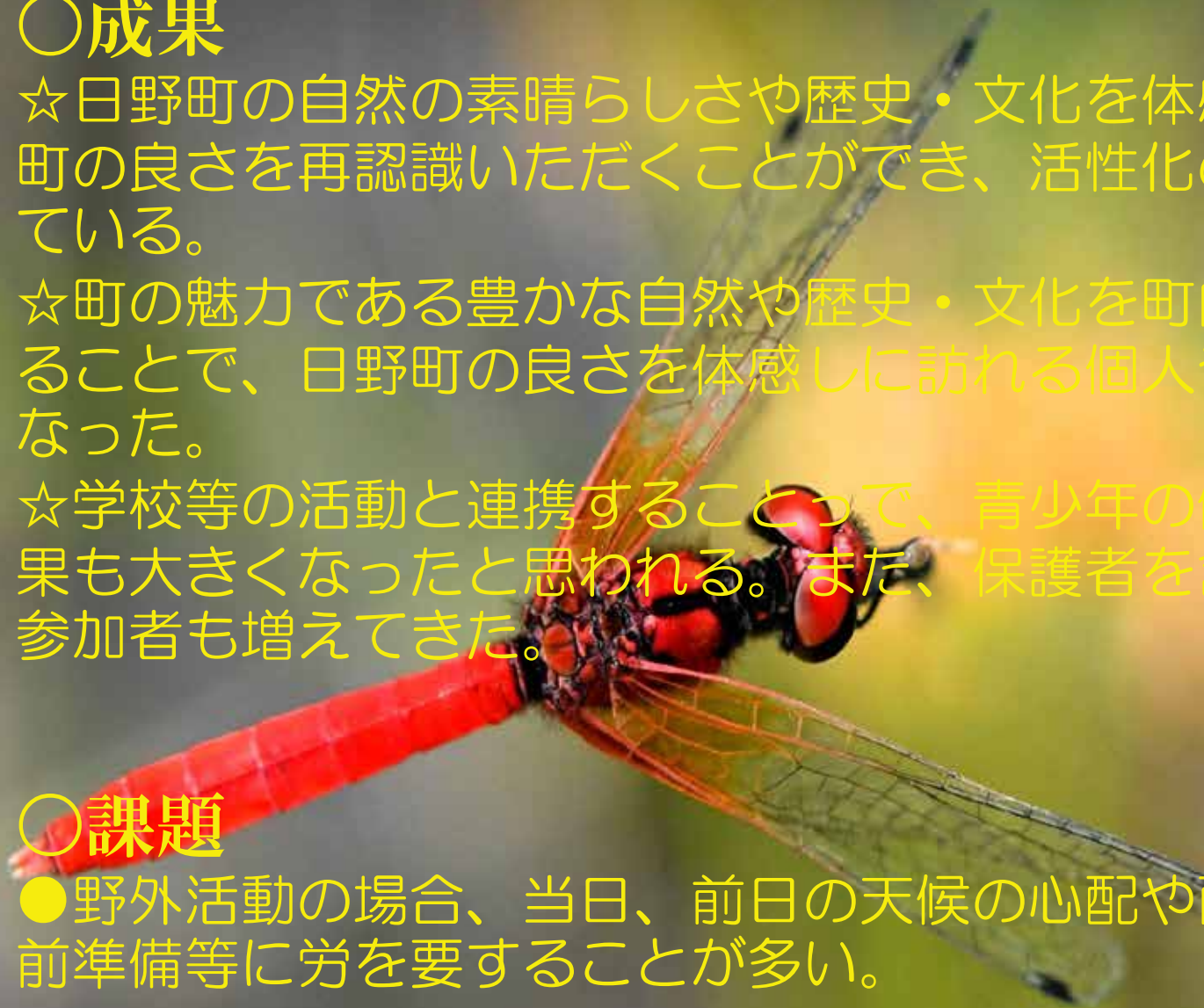
☆町の魅力である豊かな自然や歴史・文化を町内外に発信することで、日野町の良さを体感しに訪れる個人や団体も多くなった。

☆学校等の活動と連携することによって、青少年の健全育成の効果も大きくなったと思われる。また、保護者を含めた大人の参加者も増えてきた。

○課題

●野外活動の場合、当日、前日の天候の心配や雨の場合の事前準備等に労を要することが多い。

●若い世代や青少年の継続的な活動については、実施でき難い傾向にある。



ご清聴ありがとうございました

ヒメボタルの発光：日野町安原地区